



市民生活の安全安心を

新年明けましておめでとうござい
ます。皆さまには、健やかに新
春をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

さて、昨年は、3月11日の東
日本大震災を機に、全国的にも
防災対策の再点検や見直しが大
きな課題となった年でございま
した。一方では、ボランティアを
はじめ多くの方々の助け合いの心
や「絆」の大切さがクローズア
ップされた年でもございました。市
にお寄せいただいた義援金の総額
は5、137万円を超え、また多く
の支援物資をご提供いただきまし
た。皆さまの心温まるご支援ご協
力に心から感謝を申し上げます。
国を挙げての対策により、被災地
の一日も早い復興を願っております。



高島市長
西川 孝代

このような中、高島市では、皆
さまの安全・安心を確保するた
め、昨年の8月に原子力防災対策

室を立ち上げ、現在、地域防災計
画の見直しに取り組んでいるとこ
ろでございます。また、公立高島
総合病院の改築事業につきましては
は、今春の開院に向け、着々と工
事が進んでいます。地域の中核病
院として、救急医療の拠点として、
医療サービスが提供できるものと
思っております。

平成24年は、びわ湖源流の郷た
かしま戦略の推進、市民生活の安
全・安心の確保、若者定住の更な
る促進、市民協働と民間活力の強
化等を重点に掲げ、農産物認証制
度の普及促進、高島産木材の利用
拡大、地場産業の振興を図るなど、
「びわ湖源流の郷たかしま」を市
内外にアピールし、元気な高島に
つなげたいと考えています。

本年は、高島市総合計画後期計
画のスタートの年でございます。
将来に夢と希望のあふれる「住み
たいまち、住み続けたいまち」の
実現を目指して、職員一丸となっ
て邁進する所存でございます。
新しい年が、皆さまにとりまし
て、笑顔のあふれる素晴らしい年
となりますよう心からお祈りし、
新年のご挨拶といたします。



高島市議会議長
大西 勝巳

新年明けましておめでとうござ
います。市民の皆さまには、日頃
から市議会の活動にご理解とご協
力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災や台
風による土砂災害等で、全国各地
で甚大な被害が発生しました。犠
牲になられた多くの方々に、心か
ら哀悼の意を表しますとともに、
被災地の一日も早い生活再建を念
願しております。

東日本大震災以降、全国的に防
災対策の強化が叫ばれております
が、高島市においても、今回の震
災を教訓とし、いつ何時発生する
かわからない災害に備えて、地域
防災計画の見直し等を進めていま
す。何より市民の命と暮らしを守
ることが、私たちに課せられた大
きな使命であると考えています。

長引く景気の低迷は、市税の落
ち込みという形で市の財政にも深
刻な影響を及ぼしているところで
す。こうした中、地域主権一括法
の成立を受けて、今後ますます地
方自治体の裁量と自己責任が増す
こととなります。従いまして、議
会と執行機関との真摯な議論によ
り、市民の皆さまが安全で安心
に暮らせるよう、全議員が一丸と
なって市政の推進に力を尽くして
まいります。

市議会では、議会の一層の活性
化や開かれた議会をめざして自己
改革を進めるため、昨年「議
会改革特別委員会」を設置してい
ます。議会における活発な議論を
通じ、市政における課題等を明確
にし、市民の皆さまからいただい
た付託に対して、責任をもって応
えられますよう努力を重ねてまい
ります。

どうか市議会への一層のご理解
をお願い申し上げます。皆さまにとり
ましてこの一年が幸多き年であり
ますようお祈りして、年頭のご挨拶
といたします。

変革の時代に向けて

琵琶湖は、多様な生命を生育む「母
なる湖」です。この琵琶湖の水の3分の1以
上を生み出す高島市は、まさに命の水の源
です。

高島市では、水田を利用した農業を中心
に、その豊かで清らかな水と肥沃な大地で、
地域の特性を生かした高品質な農産物を生
産しています。しかしその多くは、近江米
や滋賀県産として販売されるため、消費者
に、高島市産として認識されていないのが
現状です。

こうした状況を打開し、安全・安心で
環境にやさしい農産物を全国に発信するた
め、今年度から「高島市農産ブランド認証
制度」の取り組みを始めました。

この制度は、びわ湖源流の郷たかし
まの農産物として適切な生産基準を定め、そ
れにしたがって生産された農産物を認証し
明示することで、高島市産の優れた農産物
として、責任と自信を持って消費者へ提供
するものです。

今回は、「高島市農産ブランド認証制度」
の取り組みをご紹介します。



特集

安全・安心・高品質の証し！

高島市農産ブランド